



くりお のりこ
栗尾典子議員



笠岡の歴史文化の継承とまちづくりについて問う

議員 貫閲講堂は市全体の財産か、笠岡地区の財産か。歴史文化遺産を保護する評価基準はあるか。

市長 市の社会教育施設として位置づけている。文化財的価値を明確にした上で市民の意見、財政面、安全性を考慮し、今後の方針を決定したい。歴史文化遺産は文化財の指定、登録制度を運用している。

議員 景観として貫閲講堂を守りたいと思うが、市長はどうか。

市長 個人的には、大切に保存し、活用していかねければと思う。

議員 市民意識調査に景観に関する項目を入れてもらいたい。

政策部長 現在は考えていない。

議員 まちづくりとは、歴史的建造物や指定文化財だけがつくるものでなく、市の歴史や市民の想いがつくっていくものだと思う。どのような景観のまちをつくろうと思いついているのか。

市長 古い建物は残しながら、本市の発展に繋がる景観を維持し、貫閲講堂や城山等懐かしさと感じる文化財を残していきたい。

議員 偉人の足跡をもっと市民が学ぶべきである。愛情がまちの価値を伝えていくと思う。地域の多様性を知り、認め合い、ともに笠岡で生きていくという意識を持てるような文化的取組ができないか。

教育長 公民館講座や市民大学講座等で検討したい。



やまもと さとし
山本 聡議員

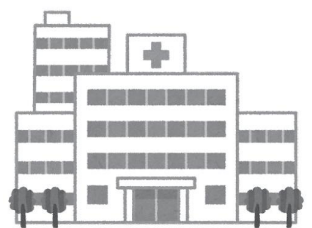
笠岡市新病院基本構想に向けて

議員 病院改革の取組と基本構想、有識者会議の在り方をたずねる。

市長 福山市で民間病院を経営している病院事業管理者兼院長の着任以降、国が公立病院に求めている5疾病、5事業に取り組んでいる。令和3年度決算では黒字を見込んでいる。会議においては公立病院としての役割を果たすべく、建て替える方向で結論を出したい。

議員 地域の医療機関との機能分化、連携についてたずねる。

市長 公立と民間の適切な役割の下で近隣病院との連携強化を図り、民間病院にできない医療や不足している医療を担い、互いに助け合いながら共存共栄していくことで、笠岡市の医療を守っていきたい。



子育て世代の増加に向けて

議員 妊娠、出産環境の整備等、結婚から子育てまでの支援事業についてたずねる。

市長 不妊症や不育症の治療費、妊婦歯科健康診査、産後うつ予防を目的とした産後ケアに係る助成等を行っている。また、住民税非課税世帯や児童扶養手当受給者を対象としたファミリーサポートセンター利用料の半額補助や、ひとり親家庭の支援として高等職業訓練促進給付金、予防接種事業では定期接種に加え、任意接種であるおたふく風邪予防接種の一部助成等、安心して子育てできるよう様々な事業を行っている。さらに、住宅新築助成金交付事業について、新婚等世帯家賃助成金の対象者は、市内の賃貸住宅に居住していても対象となるよう緩和予定である。